



# 神社で取り組むSDGsシリーズ

## レポート

天神の森を市民が憩える場所にするために？  
「を」  
市民で考えるワークショップ

主催/共催：西山の森林文化を守る会・株式会社梅鉢園

RHIZOMEマルシェin長岡天神実行委員会

開催日2023/3/4（土）場所：長岡天満宮

## <会の目的>

私たちは永い年月が蓄積した寺社を含めたランドマークをお守りする立場にあります。

庭園を含めた伝統文化は世界的に高い評価を得ていますが国内的には斜陽化し 人口減少を含めた社会構造の変化や自然災害、獣害被害などにより課題を蓄積しています。

それらは社会課題の縮図でもあり空き家問題 シャッター商店街 耕作放棄地 後継者不足問題などに共通する点も多くあります。

また感染症やデジタルの普及により地域や家庭での小さな分断が生まれコミュニティの再構築も求められています。

答えのない時代だからこそ歴史から学び、多様な背景の方々が関わり合える有機的な「場」から地域の免疫力を上げ、様々な長所を実践できるプラットフォームになればと考えています。

# 社会課題は共通点が多い!?(構造変化)

新生児80  
万人

少子高齢化

後継者不足

人材不足

空き家問題

シャッター  
商店街

耕作放棄地

マンション  
老朽化

ローカル線  
廃止

孤独死

介護

貧困

# 内容

## <スケジュール>

- <日時>2023年3月4日(土)13:00~16:00
- <スケジュール>
- 12:45~13:00 「長岡天満宮 本殿前集合」
- 13:05~13:15 「唯一無二の価値が生まれたアロマオイルのできるまで」 講師/梅野星歩先生(梅鉢園代表)
- 13:20~13:40 「コミュニティハブ作り。0から1を生み出す苦勞と喜び。」 講師/安國真理子先生(RHIZOMEマルシェin長岡天神実行委員会代表)
- 13:40~13:50 「休憩」
- 13:50~14:00 「天神の森内会場にて・主旨説明・自己紹介」
- 14:00~15:00 「ブレインストーミング(天神の森を市民が憩える場所にするには?)」
- 15:00~15:45 「各班発表」
- 15:45~16:00 「感想」
- 16:00~ 「解散」
- 17:30~19:00 「懇親会(参加自由/長岡京市内/会費~5000円)」

(参加者 計22名)

龍谷大学3回生×1名、天満宮内事業者×1名、中学校教員×1名、哲学者1名、景観フォーラム×1名、文化財マネージャー×1名、コンサルタント×1名、経営者×2名、財務アドバイザー×1名、エンジニア×1名、市民大学×1名、自然環境×1名、ミュージシャン×1名、介護士×1名、映画センター×1名、京都国際文化交流×1名、庭師×2名、西山の森林文化を守る会×1名、マルシェ主催者×1名



中小路宮司様よりご挨拶頂き会がスタート。

# 神社の抱える課題（中小路宮司様ご提示）

- ①建築物の維持（本殿の檜皮）
- ②樹木の管理（高木など安全管理）→面積広い、景観
- ③獣害被害（アライグマ、本殿の柱）
- ④地元の方の高齢化（しめ縄作成、材料調達、人で、技術、伝統）
- ⑤自然災害



課題について各班ブレインストーミングにて活発な議論中



各班の発表で核心をついた意見が出ました。



## 神社の抱える課題について（A班）

### ③獣害被害

- 藪の被害・里山の減少・防獣ネットにかかった獣の末路
- ジビエの需要多い・人の目にさらす。
- 京都の山が殆ど私有地・山の物を資源として使わない時代

### • ④地元の方の高齢化（社会構造の変化に対して）

- 文化の継承→お金を発生させる。
- 文化・歴史を使ったスタンプラリー
- 社寺林に来てもらう・御朱印集め
- 利益の再分配・企業を巻き込む（地域開発の事業者など）
- 地域でやっているという責任感。

## 神社の抱える課題について（B班）

### ④地元の方の高齢化（社会構造の変化に対して）

#### < 課題 >

- 氏子の高齢化→若い人は新氏子にならない？
- 氏子の新規開拓（親子間も難しい？）
- 神社が多くて競合？神社は拝観料がない。
- ボランティア若い人ほぼ見ない。
- 天満宮で多くの宝を管理しないといけない。
- 若い人が見るメディアに載らない。SNSあるけど偏り。
- 倒木そのまま、金銭的な問題
- 夏祭りでのゴミの多さに辟易した。

# 神社の抱える課題について（B班）

## ④地元の方の高齢化（社会構造の変化に対して）

### < 提案 >

- 神社を維持する目的を明確に。
- 氏子というよりファンクラブ。
- 開かれた場所（地域の人々の活用）・コミュニティ形成の場
- 10代を動機づけして動かすには？→自分に近い事（経験・体験）
- 文化や技術の継承（本格的でなければ学校も関われる？）
- 文化全般・色々なジャンル発表の「場」。文化と環境・学び
- フラダンス奉納・絵本読み聞かせ・子供遊び祭り・カラオケ・笑いヨガ奉納・大衆芸能
- 課題解決の映画を製作して上映
- インターネットどう活かす。
- マルシェをやる意味

# 神社の抱える課題について（C班）

## ①建築物の維持について

- 補助金申請の複雑化
- イベントなどでスポンサーを募る（平安神宮レゲエ等）
- 寺社でイベントを提案した所、檀家さんが反対した。
- 課題を内部から解決できる仕組みがないのでは？

## ③獣害被害について

- ゴールは何処なのか？
- ズビエ料理の可能性・人と野生動物の関係性・方法・

## ④地元の方の高齢化（構造変化に対して）

- しめ縄イベントで大学生を募る・情報発信・SNS等
- どんなに急いでても神社内を走る人はいない→場所の意味

# 神社の抱える課題（D班）

## ①建築物の維持（本殿の檜皮）

- 資金を集める（檜皮・展示会会場費・寄席・会社の会議・会員等の特別感）
- コストカット（違う素材等どこまで変化を認めるか・国有林使用）

## ②樹木の管理

- 歴史からスポンサーの在り方を学ぶ必要・現代版氏子・間伐材での付加価値商品

## ③獣害被害

- 動物の死を供養する機能・神職出張サービス・

## ④地元の方の高齢化

- 海外からの観光客（体験）・中高生教育・動画教材
- 伝統と革新（伝統を教えるロボット）・現代版しめ縄（新しい材料・工法）
- メンタルヘルス+しめ縄など意味の再定義、収入と維持の両立

# まとめ

## A班＜自然と人間の関係性＞

- 森林等が資源だと認識する必要性。
- 課題を明確にして共有する必要性
- 活用できるような入り口のコンテンツ。
- 事業性や収入が不可欠（企業や社会的責任）

## B班＜神社を維持する目的の明確さ＞

- 手段と目的が混在しないような仕組み作り。
- 夏祭りのゴミの多さに辟易した。
- あるのが当たり前になっているので意味の再定義。
- 地域住民や学校との距離感がある（接点を増やす必要性）

# まとめ

## C班＜何を残し何を変えるのか＞

- 世の中が変化していく中で革新への内部動機が高まっていないのでは？
- 何を残し何を変えるのかという深い議論の必要性。
- 根源的な事と時代性を組み合わせた意味や役割の上に手段が活かされていく。

## D班＜伝統と革新の基準＞

- 住民や現代社会との関係を調和・確認する機会やバロメーターが必要。
- 従来は“祭り”というデバイスが果たしていた機能の再認識。
- 時代性を組み込む必要性と普遍の役割の再認識。

# 最後に

- お忙しい中ご参加いただき有難うございました。
- 志があり各方面のプロフェッショナルにお集りいただき活発な“場”となりました。
- 様々なアイデアや根源的な深掘りまででき有意義な会となりました。
- 今後も様々な方が実践できる“空間＝庭”となれるよう機会を設けたいと思います。
- 素晴らしい内容となったので次回からは所有者の方にも参加頂けたらと思います。